

## 2025年、KeepPerはどうあるかを考える

# 日本に暮らす人々の生活のそばで、皆んなを笑顔にするために

### 「2024年12月現在」のKeepPer

KeepPer施工技術認定店であるキーパープロショップには6,614店が登録され、コーティングと洗車の専門店であるキーパーラボには127店の直営店と14店のフランチャイズ店があります。それとは別にTOYOTA、SUBARU、HONDA、三菱、SUZUKIの純正品となっており、全国の販売店に拡がりつつあります。さらに数社、内外を含めたカーメーカーより純正指定をいただく方向で活動が進んでいます。

自動車以外にもdocomo、au等キャリアショップで「スマホKeepPer」が拡がり、「お風呂KeepPer」がサービス商品とDIY商品の両方で拡がりそうです。

### 「カーボンニュートラル」におけるKeepPerの存在

キーパーコーティングは、主にガソリンスタンドに併設されているキーパープロショップで一番多く施工されています。それぞれの店舗には、KeepPer施工1級資格取得者が1名以上在籍し、そこで施工されたキーパーコーティングの「品質」をKeepPer技研(株)が責任を持って保証しています。

ガソリンスタンドはカーボンニュートラルの命題の元に、劇的に縮小していくと予想されます。しかしながら自動車が必要とするのは必ずしも燃料だけではありません。発達した文明の証でもある「清潔」「美しさ」を自動車に実現する洗車・カーコーティングは、お客様のニーズ、ウォンツとして存在し続け、自動車の使用寿命が長くなるにつれ、その需要も拡大する方向にあります。

KeepPerはその需要を実現すべく、「ギセイ被膜」の独特の理論と実践で全国のガソリンスタンドに深く浸透しています。

【ギセイ被膜とは?】

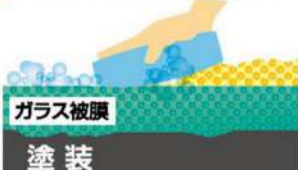
#### 1 初回施工



#### 2 1年間で、汚れた被膜を



#### 3 メンテナンスで取り除き



#### 4 新しい被膜に入れ替えます



### KeepPerの最大の強みは「技術者の多さと技術力の高さ」

KeepPerは、「自動車の美しさを実現し守る」という価値を、店頭にて、技術スタッフが作り出すというサービス商品であり、その技術の優劣によって商品の価値も大きく左右されます。よって、技術スタッフの質と数が、ビジネスの成否の鍵となります。

KeepPerは、その施工技術を直接伝授するキーパートレーニングセンターを全国に21か所設置して、7つの研修コースに年間延べ6万人余が参加しています。直営店のキーパーラボでスタッフを務め、膨大な施工実績を持ち、後輩への指導経験もあるインストラクターによって、実践的な技術研修が行われています。最高資格であるKeepPer施工技術1級資格取得者は数万人におよび、その技術力の高さと膨大な人数の多さが、キーパープロショップのみならずKeepPerの最大の強みでもあります。

2025年はさらに宮城県仙台市にキーパーラボ併設の新しいトレーニングセンターを設置する予定になっています。

### 2025年に予定している「KeepPer新商品、新サービス」

あくまでも予定ですが、まずエコダイヤとEXキーパーの間を埋める新しいキーパーコーティングを鋭意企画・開発し、2025年中のデビューを予定しています。またEXキーパーの上位商品としてダブルEXキーパーを企画しています。

また、世の中の脱フッ素の流れに合わせて、フッ素を使わない、強力かつ2~3か月耐久で、ワイパーの動きがスムーズになりビビらない窓ガラス撥水コーティング「スムーズKeepPer(仮名)」が完成間近です。洗車プラス10分で新企画「スムーズKeepPer洗車(仮名)」を、まずキーパーラボでトライアル販売をします。

【スムーズKeepPer(仮名) ビジュアルイメージ】



### 大幅拡張の新中央トレセンで「2025年 キーパー技術コンテスト」全日本チャンピオン決定戦を

キーパープロショップを主体にした定例の催し物「キーパー技術コンテスト」が、今年も6月の予選開始から10月の全国チャンピオン決定戦まで約5か月間かけて行われます。2024年は予選参加人数5,000人を超す記録的な規模での開催となり、激闘に次ぐ激闘で素晴らしい盛り上がりを見せました。

2025年は、全日本チャンピオン決定戦が開かれる「中央トレセン」(愛知県)が、大幅に拡張されます。現在の出荷倉庫を引っ越し、移設

するためです。

【新・出荷倉庫外観(2月稼働予定)】



10月の全日本戦の開催方法を含めてじっくりと検討し、コンテスト全体がさらに盛り上がりていくように皆さんと一緒に工夫していきます。

### 2025年12月の「キーパー選手権」は、消費者向け訴求販促キャンペーンも併催

毎年12月に開催されるキーパーコーティングセルアウトの「キーパー選手権」は、何年か前までは夏、冬(2年だけ春も)の複数回開催されてきました。しかしキーパー技術コンテストの方が盛り上がりてきたため、現在は一番の繁忙期である12月1か月間の1回だけになっています。しかしそれにより、集中して行えるようになってきているのも事実です。

2025年は、この期間、一般消費者向けへの訴求販促キャンペーンを企画し、側面からの支援策を講じていきたいと考えています。あるいは各店頭での販促支援策を強化していくべきか、キーパープロショップの皆さんともよく相談をしながら進めていきたいと思えます。

### キーパープロショップのブランディングのためにあえて厳しく

技術者の多さと技術力の高さの他、キーパープロショップの利点は、品質が高く保たれていることです。お客様にも多くの評価をいただいています。

しかしその反面、キーパープロショップとは名ばかりでKeepPer施工技術1級資格者が在籍していない店舗も稀にあります。また、キーパープロショップらしからぬいい加減な施工で、お客様をガッカリさせて信用を失墜させているキーパープロショップが散見されていることも事実です。

怒ったお客様、あるいはガッカリされたお客様はinfolに投稿されたり、直接キーパーの事務所に抗議の電話をされたりする場合もあります。その際はキーパーとして即座に反応し、修正あるいは退会を処すなど素早い対応をしていくことを、さらに強く実行して行くことをお約束いたします。

### キーパーラボ出店スピードアップ。FC店募集オープン

キーパーラボは在籍スタッフ全員がKeepPer施工技術1級資格者(研修生は研修生と分かる

ようにしています)で、一切の妥協を許さない高品質を絶対としています。さらに物販業とは根本的に異なるサービス業としての接客受注に徹し(決して売り込まない、売りつけない他)、平均客単価18,000円台、既存店ではキャパシティアップを実行して一店舗あたりの付加価値が年間1億円間近になってきています。しかし、それでも需要の高まりのスピードに追いつけず、店頭で身勝手な「お断り」が発生してしまう悪しき現象が発生していました。このままでは、いずれお客様離れがはじまると危機感を持ち、ずっと封印してきたフランチャイズ店募集を決意しました。お客様から見ても直営店とまったく区別がつかない施工品質とサービス業としての接客受注を、3か月間のキーパーラボ直営店での研修期間を通して身に付けてもらうなど工夫した上で、2024年11月より募集を開始しました。2024年12月現在で数十件の申込み、問合せをいただいて、2025年からは直営20店、FC40~50店のペースでオープンさせ、2025年中には合計200店舗、2026年には270店舗のキーパーラボ体制を構築する計画です。



### 2,000店舗のポテンシャル「キーパーモビリティベース」

今は、需要の増加に追いつくために店舗の増加を先行させなくてはならないため、取扱商品を洗車とキーパーコーティングに限定しています。しかし、ある一定の時期が来たら、取扱商品を車検、板金、カーシェア、保険、充電、車の買い取り、新車の販売などにまで拡張して、将来的に来店回数が最も多いモビリティベースとして幅を広げていきます。そうすることによって、キーパーコーティングと洗車だけならば店舗数のポテンシャルが500~700程度と推定されるものが、1,000店舗ぐらいいままで拡がります。

それと同時に、少量であったとしても燃料の販売が加われば、来店数の増加も含めて全体の販売増加で、店舗数ポテンシャルは一挙に2,000店舗に増加すると推定しています。逆に、燃料の供給販売がなければ、モビリティベースの完成ではないとも思うのです。

2025年、キーパーは日本に暮らす人々の生活に欠かせない存在となり、たくさんの人々を笑顔にできるような、キーパープロショップ、施工店の皆さんとわくわくしながら取り組んでまいりたいと思います。

KeepPer技研(株)  
代表取締役会長兼CEO 谷 好通